

未来への前進!!
実行 実現 実感
 神奈川県議会議員
芥川かおる

即行動!! 現場主義

神奈川県議会議員

芥川かおる



— 県政レポート — 令和4年11月 第30号

2期目を振り返り

未来への確実な歩み

お陰様を持ちまして、2期目の3年半を迎えることができました。ここまで、多くの皆様にご指導、ご支援をいただき心から感謝申し上げます。

2期目を振り返りますと、スタート直後に今上陛下が御即位され皇太子殿下という新しい時代が幕開けしました。多くの国民が夢と希望、期待を寄せ、その年の10月にはラグビーワールドカップが日本で初めて開催されました。日本代表はワンチームの合言葉で結束を固め、史上初のベスト

8に進み国民へ勇氣と希望を与え、日本中が沸き上がりました。経済波及効果は6464億円と翌年に控えるオリンピックへの期待も大きかったものでした。

しかし、12月上旬に中国武漢で発生した新型コロナウイルスが世界を襲い、瞬く間に流行が広がりました。多くの国で感染の抑制を目的とした渡航制限や外出制限が実施されるなど、人や物の流れ、交流が制限され世界経済は急速に減速し、未だ終息は見えず多くの県民の方が不安を抱え過ぎてきてきました。この影

響は経済をはじめ広範な分野に深刻な打撃を与え、大切なコミュニケーションにも支障をもたらしてあります。行事、イベントなども中止となり市民の皆さんとお会いする機会が減り、私としても、とても残念な思いであります。

またロシアによるウクライナ侵攻に対し、欧米諸国の制裁とロシアの対抗措置による原油価格の高騰や米国のインフラ防止策としての利上げ等と重なり、円安の進行は止まりません。我が国にとって影響は大きく、エネルギーや食料品をはじめ幅広い分野に価格高騰をもたらし、地域経済、市民生活が直撃を受けております。

一方、気候変動により超大型台風や線状降水帯が多発し、集中豪雨で尊い生命、財産が一瞬にして奪われております。

さらに、これまでに考えられない事件、事故が起っており、7月の参院選挙の応援演説中に安倍元総理が銃撃され亡くなられたことは政治家へのテロであり

大きな衝撃が走りました。コロナをはじめ経済不況等により精神的苦痛を伴う世相から孤独、孤立や生きづらさを生じ、心痛な犯罪とも思われることも発生しています。この世相を重く受け止め、県民、市民の皆さんの声に耳を傾け、実態把握に努めて参ります。

2期目の任期も残り半年を切りましたが、引き続き新型コロナウイルス感染症対策への対応と共に、この感染症を教訓として、新たなパンデミックに備えた対応策、法制度の見直しなど常に危機意識を持って調査し、提言をしてまいります。

また、年々被害が甚大化する自然災害においても県の水防戦略など更なる対策強化に向け取り組み、県民の命、くらしを守ることを最重要課題として、国・県・市、関係機関と連携をし、

皆様からのご助言、ご意見をいただきたいと思っております。引き続き、即行動、現場主義の政治姿勢で県民、市民の皆様と常に向き合い、日本の宝である子どもたちへ未来へ確実な歩みを続けてまいりますので、変わらぬご指導、ご支援を心からお願いを申し上げます。



月一度のクリーン活動

後援会青年局(AKG)のメンバーと月一度、市内各駅周辺でクリーン活動を行っています。またの清掃をすることにより犯罪率が下がるともいわれます。今後継続して行ってまいりますので、オレンジ軍団を見かけましたらお声を掛けください。

令和4年 第3回定例会

予算委員会での質疑に立つ

―質問―

9月補正予算の基本的な考え方と今後の財政運営について聞く。まず、今回の補正予算案について、基本的な考え方を確認したい。

―答弁―

物価高騰への対応に加え、新型コロナウイルス感染症や生活困窮者への対策など、更なる対応が必要な事業について補正予算措置を講じるものであり、9月補正予算案及び9月補正予算案その2の合計で399億円となっている。

―質問―

物価高騰対策の具体的な内容について、個別に確認

したい。医療機関や福祉施設等の光熱費等に対する支援のうち、医療機関への支援策はどのような内容なのか。

―答弁―

国が定める公定価格を基本として経営を行い、物価高騰の影響を価格に転嫁することが原則として困難である、病院や医科、歯科診療所、薬局、助産所に対し、支援金を支給する。(病院等は1床あたり4・4万円、診療所等は1施設あたり10万円)

―質問―

続いて、福祉施設のうち予算額が大きい高齢者施設への支援について伺う。

―答弁―

高齢者施設や介護サービス事業所の電気代、ガス代等の高騰による負担を軽減するため、支援金を支給する。(特別養護老人ホームは1名あたり3万円、19人以上の通所介護事業等は1事業所40万円、18人以下20万円、訪問系事業所10万円)

―質問―

光熱費の高騰に対しては私立学校に対しても支援することのだが、支援内容を確認したい。

―答弁―

教室の照明や冷暖房の利用などの光熱費をはじめ、スクールバスの運行や給食の提供等、燃料費や食材費等、原油価格・物価高騰に伴う学校負担額の増加分を、支援金として支給することを考えている。(1校あたり20万円から410万円)

―質問―

中小企業支援策について伺う。

―答弁―

支援機関が県内中小企業の相談体制の強化に対する補助金を計上している。(神奈川県産業振興センターに4892万円、神奈川県中小企業団体中央会に3億3000万円、商工会、商工会議所に7000万円)

―質問―

中小企業への金融支援について確認をしたい。

―答弁―

「原油・原材料高騰等対策特別融資」(保証料ゼロ)については6月補正予算と合わせ約50億円の予算額を、「コロナ新事業展開対策融資」及び「伴走支援型特別融資」については合計で60億円の予算額を計上して

いる。

―質問―

最後に、物価高騰は現在も続いており、当面はこうした経済環境が続くことを覚悟する必要がある。県ではこの問題に対してどのような対応していくのか、今後の財政運営全般への考え方を含め知事に伺いたい。

―知事答弁―

物価高騰を受け、暮らしに身近な食料品などの値上げは現在も続いている。6月補正予算に引き続き、9月補正予算案でも光熱費支援を始めた物価高騰対策を計上した。支援を必要としている方々にこの対策が迅速かつ確実に届くよう、予算に計上した事業を速やかに実施する。

今後の財政運営については、まず、令和5年度の財源不足額350億円については4年度に見込んでいる税収増を活用するなどして解消していきたいと考えている。一方、再出の面でも、近年頻発している自然災害等の突発的な財政需要に加え、物価高騰への追加対策にも備える必要があり、慎重な財政運営が求められる。

こうしたことから、現時点の増収見込みに気を緩めず、必要な施策には的確かつ迅速に対応し、財政調整基金の積み増し等も行うことで、健全な財政運営に努めていく。

地権者・地元の皆様のご協力により

都市計画道路相模原二ツ塚線 整備が完了



整備前
川県が事業主体となり進めてきました。地権者、地元の皆様のご理解、ご協力により整備が完了しました。

都市計画道路相模原二ツ塚線は、相模原市、座間市及び大和市の3市境に位置する主要な幹線道路であり、県道51号線(町田厚木)を起点とし、県道50号(座間大和)を経て国道246号に至る道路です。この地域には南北を結ぶ道路が少ないうえに当該道路は、幅員が狭小かつ歩道が未整備であったことから、交通安全性や生活環境の保全、防災対策の充実、南北方向の連帯強化を目的とし、整備(道路拡張・電線共同溝整備)を進めてきました。平成22年度から相模原市域分については、相模原市が事業主体となり整備を進め、座間市、大和市域分は神奈川県が事業主体となり進めてきました。地権者、地元の皆様のご理解、ご協力により整備が完了しました。

整備完了後

みなさんの「声」を聞かせてください!



オフィシャルサイト 一絆一
<https://akutagawakaoru-kizuna.jp/>

発行

芥川かおる事務所

〒252-0021 神奈川県座間市緑ヶ丘1-1-35(2F) TEL 046-244-0281 FAX 046-244-0481